

# ペットの 名医

犬猫を専門に診るホーム  
ドクター。日大獣医学科出

## 【医療連携】

身の塩谷院長  
は、東大動物医  
療センターの外  
科と内科の研修  
医勤務を経て開  
業。豊富な人脈



かまくら  
犬と猫の病院  
塩谷香織 院長

ペットの高齢化で増えて  
いる。がん、もそのひと  
つ。たとえば、鼻詰まりや  
鼻水で来院した猫の場合。  
「鼻詰まりや鼻水は、感染  
症、異物または鼻炎などで  
も認められる症状です。し  
かし、高齢である場合は、  
全身状態、顔の変化、目の症  
状及び口の中まで、より注  
意深く観察し、深刻な病気が  
隠れているかどうかを判  
断する必要があります。き  
ちんと調べないと腫瘍など  
重大な病気の発見が遅れて  
しまう危険性があります」  
この猫は、すぐに近くの  
日大動物病院に紹介。CT、

大学病院や専門医と連携、急  
変時にも適切な治療ができる

## 飼い主との会話から元気なうちに

## 病気を見つける

- 《病院データ》
- 住所＝神奈川県鎌倉市  
御成町12-28
  - 診療時間＝9時～11時  
30分／15時～18時30分
  - 休診日＝日・祝、水曜  
・土曜の午後
  - 電話＝0467・22・4976

をしかして、大  
学病院や2次診  
療病院との密な  
連携を大切にし  
ている。

「ワンちゃん、  
ネコちゃんのち  
よっとした症状  
の裏に、重篤な病気が隠れ  
ていることがあります。そ  
れを早く見つけて、自分の  
範囲を超える場合には速や  
かに適切な専門医へ送る。  
それも普段、接しているホ  
ームドクターの大切な役割  
です」

病理検査で鼻腔のがんを早  
期に発見できたという。

「放射線治療を行い、今は  
寛解（安定した状態）して  
元気になっています」

定期検査や副作用の管理  
は同院で診ながら、変化が  
あれば大学側ですぐに対応  
できるよう、常に情報を共  
有している。

「白内障や緑内障などの眼  
科、歯の破折などの歯科も  
獣医療学では、まだ専門医  
による2次診療が必要な分  
野です。飼い主さんたちに  
は、散歩の途中などに気軽  
に体重測定に寄ってもらっ  
ています。元気な時の何げ  
ない会話の中から病気が見  
つかることもあります」